



## もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】 ～こんな事にも関わっています～



もりメイト倶楽部 Hiroshima では「森林整備の重要性」を多くの人々に理解して頂くため、方々で啓発活動の事業を展開しています。前回から、《森づくり啓発シリーズ》として「こんな事にも関わっています」とシリーズ化してお伝えしています。今回の活動は、私たちの生活に欠かせない水の故郷である太田川の源流域「太田川源流の森」において、間伐体験などを通し、森と水の関わりについて知ることを目的としています。太田川の恵みを受けている8つの水道事業体と連携して実施しており、平成12年から始まり今年で23年目を迎えました。より多くの方が活動を体験し、豊かな森林が育む太田川の清流を、次の世代に引き継いでいくこの事業に賛同し、長年協力をしています。次ページに掲載の「中国電力イベント」も併せてご覧ください。

### 「太田川源流の森」 間伐体験に参加

10月22日(土)

3班：坂田美和



蛇口から出てくる水はどこからやってくるのか？この度、太田川源流の森の活動に指導者として参加し、私自身も水について考える良い機会となりました。今回の間伐体験は、広島市、江田島市と呉市、熊野町から参加。太田川の水が想像以上に広い範囲に供給されている事を改めて認識しました。しかも竹原市や大崎上島町にまで及ぶとは！さて、間伐体験当日、私の班は小中学生の子どもたちみんなと力を合わせて杉の木を倒しました。子どもたちにはいつも感心させられるのですが、この度も例外ではなく、のこぎりの使い方がみるみるうちに上手になっていきます。

初めは口数も少なく静かな作業現場で、楽しんでくれているかな？大丈夫かな？と思うほどでしたが、枝を払って玉切りするころには私の心配をよそにみんな嬉々とした表情に変わっていました。作業が終わりに近づき、枝を片付ける頃になっても、子どもたちはもっと役に立てるよ！と体全体からエネルギーを発しているようで、とても頼もしかったです。

短い時間でしたが、どうか自然を大切に思う気持ちを育む一助となっていますように。

この日は、参加者の来られる前の準備や後片付けも、私にとっては先輩方から教えていただく有意義な時間でした。慌ただしい時間にもかかわらず、丁寧に教えてくださったことに感謝しています。特に初のロープ掛けは難しく、楽しく、また挑戦したい作業です。これからも出来ることをひとつずつ増やしていきたいなと思います。ありがとうございました。



お父さんと一緒にがんばりました。



水道局の職員と朝のミーティング





間伐指導の面々。新旧ペアを組みました。



木を伐る前ノコの使い方を教わる

【太田川源流の森間伐体験】は、「太田川流域水源涵養推進協議会」の主催で、毎年、吉和の太田川源流の森にて開催。《豊かな森は緑のダムとなり美味しい水を作る》ことから、太田川の水の恩恵にあずかる市を交代で応募し、森林整備や森の学習を行ない、毎回、倶楽部からたくさんの講師を派遣しています。

## 中国電力森林イベント part2 ～高梁市編～ 11月19日(土) 5班 秋武明



とてもすてきな森でした！みんなで記念撮影

中国電力 70 周年創立記念行事の一環として、昨年 11 月に北広島にて「森林イベント」を開催。この度、第 2 弾として、岡山の高梁市備中町にて森林イベントを開催、倶楽部の面々が駆け付けました。

.....

《 参加者の声:アンケートからの感想 》

- 間伐体験は楽しかった(全員)
- 太い木の伐り方を教わりうまく伐れた。
- 引っ張って倒した事やノコギリを使った事
- 山と水と電気がつながっている事がわかった (水力発電も見学)。
- 森の手入れの大切さを知り考えさせられた。

早朝 5 時起床、6 時 20 分に砂原さん、吉村さん、秋武が高陽町で待ち合わせ、7 時過ぎに集合場所の中国自動車道「安佐サービスエリア」へ。山本理事長、見勢井顧問、岩田さん、富田さんと合流後、東城インターまで走ること約 1 時間。

更に一般道を東へ南へと約 30 分。作業会場(水源涵養林)に着くも、休憩する間もなく資機材の準備を終える。10 時 20 分頃イベント参加者が到着し、10 時 30 分頃の開会式を終えて、中国電力スタッフの支援を得ながら、参加者 12 家族(32 名)を 1

班～6 班に編成し、更に作業時の注意事項を周知徹底して作業開始。

太いも細いももっと切りたいとの短時間ではありましたが、家族で四苦八苦しながらも、皆さん楽しく森林整備をして頂きました。11 時 30 分ごろにはデモンストレーションで受け口、追い口を入れた直径 30 センチ、高さ約 15 メートル程の大樹を、皆でロープで引き倒した時の「メキ、メキッ！ドゥスーン！」と大きな音がした時は、拍手と大きな歓声が上がりました。

参加した皆さんが、怪我無く終わる事が出来、森林整備の素晴らしさと楽しさを感じて貰えたと思います。

中国電力スタッフの皆さんもお疲れさまでした！参加者が去った後、メンバーで振り返りを実施。林間にシートを広げて食べたコンビニ弁当がとても美味しかった。♪総走行距離約 270 キロ。